

2023年度 木曾青峰高校 定時制 学校関係者評価報告書

評価 A:よい B:おおむねよい C:不十分

総合評価			学校評議員記入欄	
			評価	コメント
<p>中学校では不登校傾向だった生徒たちが、定時制には登校していることは素晴らしい。少人数の定時制では生徒一人一人にきめ細やかな対応ができており、4年間を通じて、ゆっくり1歩ずつ社会性を育成することができる環境である。学習指導面でも少人数体制の強みを活かし、個別最適化された学習指導に取り組むことができた。集団の中では能力を発揮するのが苦手な生徒の特性を引き出せるよう、継続的なチャレンジを続けたい。また、校内のICT機器の利活用を引き続き推進したい。</p>			A	<p>○一人ひとりに合わせた細かな対応に感謝いたします。</p> <p>○少人数制を活かした取り組みは、大変なことと存じますが、成果が得られていることが、大変すばらしいと感じました。</p> <p>○青峰定時制はPR不足、不登校は松本へ行っています。</p> <p>○一人一人対応くださりありがたい。</p>
成果と課題	評価	改善策・向上策	学校評議員記入欄	
			評価	コメント
<p>重点目標① いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。 【成果と課題】 多くの生徒は落ち着いた雰囲気、特に問題なく学校生活を送っている。精神的に不安定であるなど、必要と思われる生徒に対しては、専門家のカウンセリング等も利用しながら臨機応変に対応できているので、今後も継続的な対応、指導をしていきたい。</p>	A	<p>生徒同士が互いを尊重する雰囲気、継続できるようコミュニケーション能力の向上や社会性の定着を目指すとともに、生徒のささいな変化にも気づけるよう、全職員が常に意識し、些細な事でも情報共有を徹底する。また、ネットによるトラブルの防止のため、SNSなどの使用についても継続的に指導する。</p>	A	○少人数で、生徒は幸せです。
<p>重点目標② 学習・生徒指導の両面から生徒一人ひとりを大切にする教育活動を推進し、社会に出てからも通用するような生きる力と豊かな感性をはぐくむ。 【成果と課題】 面談等により、生活面や学習面について、丁寧に生徒の相談に乗ることができた。学校での学習や経験が、今後の社会での生きる力につながるような指導を意識したい。</p>	A	<p>基本的に毎日登校し、机に向かうという習慣形成を重視し、学習面、生活面ともに、生徒一人ひとりに対し、生徒の潜在能力を引き出すため、さらに根気強く指導を続けていく。</p> <p>生きる力につながる、生徒につけさせたい力を、全職員で共有し指導していく。</p>	A	○一人ひとりを大切にされ、根気強く関わっていくことの大切さを実感しました。そして、生きる力をつけるためのご努力に感謝の気持ちです。
<p>重点目標③ 生徒が希望する進路を実現するための基礎的な学力及びコミュニケーション能力を育み、社会的適応力を高める。 【成果と課題】 様々な外部講師による講習会を実施したことで、生徒自身普段と異なる刺激を受けることができ、生活態度の向上、社会への意識向上がみられた。コミュニケーション能力については、生徒による差が大きい。適応力が身につけにくい生徒の能力向上のための指導は難しい現状もある。</p>	A	<p>進学や就職等、外部からの情報をタイムリーに把握し、生徒への情報提供に努める。また学習面だけでなく、特別活動や清掃、ホームルーム活動を通して、生徒の能力を涵養する。</p> <p>就業支援やハローワークと連携し、企業訪問等の場を設けて個々の生徒に応じた指導をしていく。</p>	A	<p>○コミュニケーション能力の低下が、本校でも強く感じるところです。コミュニケーションをとる体験を多く取り入れていただけると、ありがたいと存じます。</p> <p>○高校生は社会では引っぱりだこ、重要で有ります。</p>

<p>重点目標④ さまざまな活動を通し、地域との連携と開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>【成果と課題】 定時制説明会等で授業公開を実施した。また、地域の保健師や支援員などとの支援会議や、意見交換の場を頻繁に持てた。今年度の校内生活体験発表会は生徒、職員その他、保護者、来賓を招待して実施することができた。</p>	A	<p>地域の保健師や支援員などとの交流により、生徒へ多面的な指導ができるようになっていたので今後も継続する。</p> <p>外部講師による出前授業等において、生徒の普段と違う表情や積極性を見ることができたので今後も計画し、実施する。</p>	A	<p>○経験の少ない生徒さんにとって、地域の皆さんとの関りは大変重要と考えます。</p>
<p>重点目標⑤ 「夢に挑戦する学び」への対応を進める。</p> <p>【成果と課題】 卒業後の進路や、自分に対しての自信につながるような資格取得、また自分の趣味や好きなことを、進路に活かせる可能性も考え、積極的に挑戦できる機会があれば良いと感じる。</p>	A	<p>生徒自身が自己の良さを認め、スモールステップの目標を持てるように支援する。さらに小さな達成感を積み重ねることでチャレンジする意欲を高めていくために、生徒、教員間で情報を共有し、生徒の挑戦心を支援していく。</p>	A	<p>○小さな達成感の積み重ねが大変重要で、これがやる気へと繋がるのが伝わり、大変素晴らしいと感じました。</p>

評価項目		評価	改善策・向上策	学校評議員記入欄	
				評価	コメント
学習指導	授業内容（補充授業を含む）の充実と出席率の向上	B	各教科の教育目標を明確にし、生徒と共有するとともに、生徒の実態に応じた課題、教材の選定により、生徒の興味関心を引き、基礎学力の定着や出席率の向上をはかる。また魅力ある授業を目標に、ICT機器の活用を試みる。	A	○出席率はどのくらいか？
進路指導	進路目標の明確化と進路実現	A	早期から進路への意識付けをし、進路学習の機会を設けたい。就労支援、ハローワーク、企業への相談、見学等を実施し、4年になるまでに進路の方向を見据えられるよう、早めの情報提供と、具体的な進路活動を開始できるような支援が必要と思われる。	A	○毎年、町村担当支援機関を交えて行う情報共有の連絡会議は、早期に必要な支援につなげるとも良い機会になっていると思います。
	キャリア教育の推進	B	生徒が長期的展望で自分らしく生きていくことができるよう、自己有用感を育む学びを意識する。また地域の産業にも光があたるような取り組みを考えていきたい。	B	○高齢化の進む木曾地域に残って活躍される人材育成を、より強化いただければ幸いです。
自主活動	クラブ・生徒会活動等自主活動の活性化	A	係を中心に職員全員でサポートすることができたので、今後も生徒が企画運営できるよう生徒の意見を尊重しながら、全員で支援する。	A	
生活指導	基本的社会性を持った人間の育成	A	社会性を身に付けるためには規則正しい生活習慣が大切である。時間を守る、連絡・報告をする、清掃にしっかりと取り組むなど、生徒・職員共に意識し、家庭と協力しながら、継続的な指導が必要である。また、クラスを超えた活動や校外の活動などから、互いに尊重し合える人間関係を構築したい。	A	○人との関係づくりが難しい現代社会で、お互い協力し、尊重できることは重要と考えます。今後お願いします。
	全職員による生徒の状況把握（情報の共有）	A	日頃から綿密にコミュニケーションをとることができる環境であるため、今後も常に生徒情報を共有できる状態を継続していく。	A	
	相談体制の充実発展	A	SC、SSW、保健師との連携がよくできているので今後も継続する。また誰にでも相談できる雰囲気をつくり、アセス後の全員面談も継続していく。	A	
	家庭・地域社会との連携	A	家庭内の異変を早期に感じ取り、今後も自治体や行政・福祉等、関係機関と情報共有していく必要がある。また生徒の卒業後も見据え、地域と連携を続ける。	A	
学校運営	緊急時保護者への連絡体制の完備	A	体制は確立しているので、定期的な点検を行い、不測の事態に備えておく。また日頃より保護者と連絡を密にとる。	A	
	学校ホームページ・パンフレットの充実	B	次年度に学校HP変更に合わせて充実させていく。係を中心に写真を有効活用し、地域の方々に確実に届く広報にする。	A	○定時制の存在をもっと知ってほしい。
	授業等の公開	A	年間行事計画に沿って2回の公開授業に加え、希望する中学生にも授業を公開できたので、生徒の負担にならない範囲で多くの方々に参観いただけるよう工夫したい。	A	